

# てこな・ミュージズ・ジャーナル

6月25日 行徳文化ホール  
長富 彩さん  
演奏会に寄せて

## プログラム(予定)

リスト/パガニーニによる大練習曲 第3曲  
嬰ト短調「ラ・カンパネラ」  
スクリャーピン/「幻想曲口短調」作品28

数々のヴィルトゥオーゾ・ピースで話題のメジャーデビューを果たした長富彩さん。若き天才ピアニストの演奏に先立ち、長富さんに、ご自身のこと、音楽への思いを語っていただきました。

### 大切にしている言葉「心から心に」

この度は、行徳文化ホールにて6月25日に演奏会をさせて頂ける事になり、大変嬉しく思っております。ベートーヴェンの有名な言葉「From the heart. - may it go - to the hearts.」願わくば～心から心に至らんことを～これは、私が18歳の頃から、演奏する上で考え続けてきた事です。

### 24歳の私が考える「音楽・心から心に」

「心から心に」ということを可能にするには、どうしたらいいのでしょうか？私はこのように考えます。「すべての音に意味があること。すべての音に彩りを持たせること。たとえそれがどんな超絶技巧の曲であっても。その上で何も引かず何も足さず、しっかりと全体像を見渡し筋を通すこと。作曲家の心の祈り、メッセージを常に敏感に感じ取れるように自分の心を磨き、音楽がお客様に届くように私自身も祈りながら奏でるのだということ。」そのため毎日もがいています。「願わくば」というベートーヴェンの思いを汲み取るには、耳、心を常に敏感にし、研鑽し続けていなければなりません。「to the hearts」、この言葉は私がまさに心に刻むべき、演奏家として見失ってはならない私のベースだと思っています。



### 演奏家になるまで

私は、4歳になった頃からピアノを始めました。きっかけは、幼稚園でバイエルを弾いて拍手喝さいを浴びていた女の子です。目立ちたがり屋で人気者になりかけた私は、ピアノを弾けば彼女ようになれるんだ！と思い、母にまさに土下座をして

市川市文化振興財団 音楽総合プロデューサー 小坂 裕子

ピアノをやらせて下さいと懇願し、それからピアノは歌うためのお友達のようなのです。でも東京音楽大学の付属高校のピアノ演奏家コースに入学してからは、義務感に押しつぶされてピアノを楽しく弾けなくなりました。それから脱出できたのは、高校卒業後の進路を決めるとき、自分を見つめなおすと、私は心からピアノが好きなのだ初めて気づいたのです。ピアノを好きだからその気持ちを失いたくない、一人で音楽と向き合える環境を得たいと痛烈に思っている自分に気づきました。運命の先生と出会えたのは、まずはハンガリーのリスト音楽院のナードル教授。2年の後それからアメリカに渡り、新しい先生と出会い、それこそ、武者修行のような日々を自分から望んで過ごしたのです。

### 本番まで真っ暗闇

昨年メジャーデビューを果たしましたが、演奏会は何度経験しても、その都度悩まされています。大抵は本番までには悩みを解決して演奏をする事が出来てきたのですが、生まれて初めての「恐ろしい経験」もしたのです。演奏がどうにもならなくて、本番までの毎日が真っ暗闇となってしまったのです。満足できる演奏が出来ない、それを抜出す練習方法すら分からなくなってしまったのです。ただただ我武者羅に練習し、本番を迎えるしかありませんでした。よかったといくら言われても、自分自身が表現しなかった音を出せなかった事が悲しくて、翌日は1人泣き続けていました。その後、昨年の12月頃になってやっと、少し突破口が見えました。試行錯誤する中、今年2月に浜離宮朝日ホールで満員御礼となった追加公演が行われました。

### 私は私

「もう迷わない。私は私、信じた音を出そう」と心に決めました。すると追加公演では、私が出したいと願う音を感じる存分出せたのです。やっと迷いから抜け出せ、音楽を奏でられる幸せを感じることができました。その後ももちろん、毎日葛藤しています。自信を得ようと、試行錯誤の繰り返しです。挫折、そこから這い上がる、この苦しみが一生涯続くのかもしれませんが、それでも、音楽がそばにあってこそ、私らしく生きていられると思っていますので、ピアノに真正面から向き合って、逃げずに、作曲家が楽譜に込めた魂の音を大切にすることを忘れずに、音楽と共に生きていきたいのです。

### 行徳文化ホール演奏会

千葉県での初めてのこの演奏会では、これまでの経験と想いを糧に、私らしい音楽を奏でることができたら、幸せです。プログラムは、デビューアルバムのタイトルにもなっている(イスラメイ)や、生誕200年のリストの名曲が揃っています。超絶な技巧の華やかさを失わず、けれども、一番大切な「音への愛」から逃げずに、聴きにきてくださる皆様に、心を込めて演奏したいと思います。

(長富さんからいただいた原稿をもとにしています。)